

10月31日(木) 学校生活

【不易流行】

本質的で大事なことを忘れずに新しく変化を重ねるものも柔軟に取り入れていくことを心掛けたいものです。そのためにも、どんどん思ったことを口にしてみましょう。何かより良いものが見つかるかも。



11月16日は学習発表会。国語「クラスみんなで決めるには」の教材と絡ませ、学習発表会のクラスの目標について話し合っています。

理由をつけながら、みんなが出したためあてを絡ませたい。



記録は、よく聞いて。記録しやすいように、ゆっくり伝える子供たち



みんなの意見をくみながら司会を進めています。

10月31日の神戸新聞に掲載されました。4年児童が提案した「回収箱へ向かうエコカモ」が、市内8店舗でエコトレとして目にする事となります。リサイクルし、資源循環を促進しましょう。



小野 資源循環に向け、小野市の小学4年生の絵を生かした市独自のエコトレが完成した。市内在住の漫画家、荻野タオさんが児童の絵を基に最終デザインを作った。かわいくカモがくちほしでトレーをくわえ、回収箱に歩いて入れようとする姿。エコトレは市内の工場で製造し、市内8カ所の食品スーパーに納品。流通後、ほかの食品トレーとスーパー店頭で回収、再生利用による循環に役立てる。(坂本 勝)

児童と漫画家コラボ エコトレ完成

エコトレのデザイン案作りに協力した来住小学校4年生ら＝いずれも小野市下住区

市内工場で製造、スーパーに納品
流通→回収→再生利用」資源循環へ

デザイン案の原画
完成したエコトレ

小4年3人の絵を生かし荻野さんがデザイン

これは来住の相原南と東さん(9)、西口真希さん(10)、松田翔さん(10)の作品。校区には市の観光名所の鴨池があり、渡り鳥が冬に飛来することからカモを描いた。トレーをくわえて回収箱へ向かう「エコカモ」の頭には市花ビマワリの髪飾りを付けた。

完成したトレーを見た3人は「自分たちが描いたカモに似ていたし、さらにかわいくなっていた。トレーになつてうれしいし、リサイクルに役立ててほしい」と喜んだ。

荻野さんは「小野市民に親しみのあるカモが歩いてリサイクル箱へトレーを運ぶ姿を頼もしいと感じた。多くの方の目に留まり、回収率向上につながるとうれしい」と感想を寄せた。

エコの関西選別センターは11月14日に完成する予定。同社と市は資源循環の促進に向け、連携協定を結ぶ。